



喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)

Be happy with those who are happy, weep with those who weep. (Romans 12:15)



祝 福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたと一同と共にあるように。



ーコリントの信徒への手紙Ⅱ 13章13節ー

九州学院チャプレン 日笠山 吉之

九州学院の朝は、礼拝から始まります。毎朝10分間という限られた時間ですが、聖書が読まれ、賛美歌が歌われ、説教が語られ、神に祈りがささげられます。生徒たちの表情は、みな真剣そのもの。それを見て、説教者も思わず身を正されます。

礼拝の最後の祝福は、チャプレンの役目です。ですから、私も生徒たちがその日一日神の祝福に包まれた生活を送れますように！と祈りつつ、十字を切りながら「父と子と聖霊の御名によって。アーメン」と締めくくるようにしています。この祝福の言葉が、新中学1年生の間で目下大流行中…といっても、一部の男子生徒たちですが。彼らは授業の合間の休憩時間に私を見つけるやいなや、「チャプレン、祝福をしてください！」と駆け寄ってくるのです。それでその場で彼らを祝福すると、「オー」と歓声があがり、満足げに教室に戻っていくという次第。いつまでこれが続くのでしょうか？楽しみです。

私たちはだれもが祝福を必要としています。それは子どもであっても大人であっても変わらないと思います。巷には人を傷つける言葉や暴言や呪いの言葉があふれていますが、神は誰に対しても祝福の言葉をかけてくださっています。この九州通信を読んでおられる皆さんの上にも、神の祝福が常に豊かにあらんことを祈ります。

2024年 みどり幼稚園創立100周年 節目の年度がスタート

学院計473人が入学・入園

記念事業の取り組みも進行中



現在の「みどり幼稚園」[右下は1924年当時のグレイ宣教師館(幼児教育開始場所)]

4月9日(火)、九州学院総合体育館において高等学校および中学校の入学式が挙行され、高校1年生339人、中学校1年生104人、学校長式辞、来賓紹介に続き、在校生を代表して山本直輝高校生が室永芳久校長により正式に許可される中、高の新たななかまとして加わりました。その後の、新人生代表による誓いの言葉を、中学生は森雄々士さんが、高校生は岡本唯さんがそれぞれ室永校長の前で述べました。開式後には各教室で学級開きが行われました。4月12日(金)、九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルで幼児連携型認定こども園みどり幼稚園の入園式が挙行され、30人の新入園児が入園しました。1924(大正13)年に開園したみどり幼稚園は本年、100周年の節目を迎えました。初代のメリー・グレイ園長から現在の現垣力園長まで、13代の歴代園長と職員によってさまざまな改革を行いながら、現在まで脈々と歴史を紡いでいます。

こども園と中高は小道をはさんで隣接するだけではなく、園児の運動や英会話の時間に中高の教員が出向いて指導を行ったり、一部の運動や行事は中高の施設を使用して実施されるなど、両者は強い絆で結ばれています。本紙「九州通信」でも定期的にこども園長が記事執筆し、学院に連なる組織としての特徴も含めて園の様子を紹介されています。今号も3頁に園の記事を掲載しておりますのでぜひご覧ください。

なお、11月に執り行う計画の100周年記念礼拝ならびに記念式典の模様は、学院ウェブサイトを来年2月発行予定の九州通信などで報告記事掲載を予定しています。引き続き皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

剣道部 全国選抜大会優勝！

岩崎選手(自転車競技)全国選抜大会準優勝
村上選手(ボクシング)全国選抜大会準優勝
齊木さん(ピアノ)コンクール全国大会金賞

今春の全国大会でも九州学院の生徒が優秀な成績を収めました。3月27日(水)28日(木)に愛知県春日井市総合体育館で開催された第33回全国高等学校選抜剣道大会において、剣道部が5年ぶり12度目の優勝を飾りました。

全国屈指の強豪が集う同大会は毎回数多くの接戦がみられますが、今回も3回戦の島原高校(長崎)に代表戦、準々決勝の浜名高校静岡(1対0、準決勝の福岡大大濠高校と決勝の龍谷高校(佐賀)には2対0と、僅差の試合を高い技術力と精神力で勝ち抜きました。

3月27日(水)、北九州メディアドームで開催された令和5年度全国高等学校自転車競技選抜大会男子1kmタイム

その他の主な大会出場結果につきましては4頁をご覧ください。



院長室だより

院長 小副川 幸孝



中学生一〇四名、高校生三三九名という予定どおりの新入生を迎え入れての新学期が始まりました。九州学院の生徒であるという誇りと笑顔が校内一杯に広がります。四月九日に中高合同で入学式を終え、新緑を迎えようとする季節に新学期を迎えることができるのは、本当にいいものだ、とつくづく思います。

一新された美しい校内の陸上トラックがある学院風景の中での学校生活が始まりました。

今年度は、約千五百人の全生徒が一同に会することが可能になり、対面式や諸行事が行われるようになりましたが、外から来られる方が驚かれるほど、時間がくれば自然に静かになって「聞く姿勢」をとる生徒たちの質の高さが増えるようになりました。「聞く」ということは、「学び」の重要な基本であるだけでなく、人間が生きていく上での鍵となる要素でもあります。「論語」の中でも「聞かざるは、すなわち損なう」と語られていますし、聖書の重要な言葉は、いつも、「シェマー(聞け)」という言葉で告げられ、イエスもまた「聞く耳のある者は聞きなさい」と言いつて教えを始められました。「聞く」ということは、自分の意見を通すことではありません。

あらゆる事柄が「聞く」ことから始まると思っています。「声なき声を聞く。」それを大切にしたいものです。

2024年度の進路状況について

進路指導部長 松本 郁

2024年度入試における四年制大学の合格者数は、国公立大24名（うち現役19名、九州〔共創〕、熊本〔教育1、工1、薬1〕、東京学芸〔教育〕、和歌山、宇都宮〔工〕、九州〔共創〕、大分〔経〕、鹿児島〔理、医看〕、宮崎県立看護、熊本〔教育1、工1、薬1〕、熊本県立7〔総管6、文1〕、名桜〔国際〕、過年度卒4名：信州〔農〕、熊本3〔教育、医保、情報融合〕私立大343名（うち現役一般入試90名：早稲田1、明治大2、青山学院1、立教4、関西1、関西学院1、日本1、東洋1、専修1、成蹊1、明治学院3）、総合型選抜入試27名（うち慶應1）、公募推薦入試34名、スポーツ推薦入試44名、指定校推薦入試合計88名（うち同志社9、福岡22、熊本学園20）でした。また、短期大学4名。就職内定者10名（公務員7、一般3）、となっています。今春卒業者339名の進路決定状況は、四年制大学83.8%（前年比+4.9%）、短期大学0.9%（+0.9）、専修・各種学校6.2%（-3%）、就職2.9%（+0.8%）、海外進学0.6%（+0.3%）、予備校等（受験準備）2.7%（-2.1%）でした。地域別で見ると、熊本県内への進学者は32.6%（昨年29.5%）、県外進学者のうち関東には27.1%（昨年25.5%）、関西には12.3%（昨年16.2%）、福岡には21.0%（昨年19.9%）が進学しました。2024年度入試は、18歳人口が前後5年で最少となり、全体としては競争緩和も進みましたが、依然として難関大学では高い競争倍率を維持する中での入試となりました。そのような中でも、九州大学や慶應大学といった難関大学で現役合格者が出るなど、生徒はそれぞれの進路目標に向け努力し、九州学院での3年間を最大限の結果を残してくれました。指定校推薦については、今年度は188名の4年制大学から推薦依頼が寄せられ、特に同志社大学から23名、福岡大学から24名、熊本学園大学から28名の枠をいただきました。進路指導部としては、このような特別連携関係を大切にするとともに、国内外を含めた新たな推薦枠の獲得を目指しつつ、生徒の基礎学力の向上とミスマッチのない進路選択を全力でサポートできるよう努めてまいります。

1994（平成6）年着任。中高男子寮で

寮生の生活・学習指導ならびに支援に邁進。

英語 地公 矢澤 麻子

みどり 山口 真季



福岡祐一（前寮監長）

長を2020（令和2）

退任

英語 上野 令資

教職員異動（退任・新任）

〔敬称略〕

2024年度を迎えて

中高校長 室永 芳久



平素より本学院の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

皆さまのおかげをもちまして、中学校・高等学校とともに、2024年度入試においても多くの受験生を与えられ、中学校104名、高等学校339名の新生を迎えることができました。4月9日の入学式、10日の対面式を終え、九州学院に新しい仲間が増えたこと、心より嬉しく思っております。

本稿執筆時点で、学校は一学期半ば、高校総体・総文祭、中体連に向けて各部活動が活気づいているところです。学習への取り組みも各学年とも本格化しつつあり、生徒の皆さんは、文武両道を実践すべく、各所で頑張っている様子が校内では多く見られます。充実した日々を過ごし、悔いのない取り組みをしてほしいと願っています。

これから学院は、新たな一年間の歩みを始めます。中高ともに、新一年生は一日も早く「九学」の生徒となり、学校生活を謳歌してもらいたいと思います。また二年生は、中核を成す学年として学院を担う自覚を持ち、同時に次の最終学年に向けて個々に頑張ってもらいたいと考えています。更に三年生は、いよいよ次のステップに向けての学年です。迷うことも多いかもしれませんが、よく考えて判断・行動することを心がけ、悔いのない一年間となることを願っています。

マンリオ・カデロ・サンマリノ共和国特命全權大使が来訪

～高校3年生への特別講話で平和の大切さを説かれる～



4月26日（金）、13世紀の建国以来中断されることなく独立を維持している世界最古の共和国であり、現在有効な憲法としては400年以上続く世界最古の立憲共和国であるサンマリノ共和国のマンリオ・カデロ駐日特命全權大使が来訪され、3号館ホールにおいて高校3年生への特別講話をしていただきました。カデロ大使は1975年にジャーナリストとして来日され、東京を拠点に事業を展開。1986年に駐日サンマリノ共和国総領事、2002年に同国特命全權大使に任命され、現在にいたります。その経歴と実績が高く評価されて2011年から駐日外交団長も務められており、現在の駐日大使・領事の中で最も日本に精通されているとされる方です。講話の中でカデロ大使は「サンマリノ共和国は、戦後、戦争ではなく平和を選択する人々になつてく

高校 第76回卒業証書授与式を挙

3月1日（金）、九州学院総合体育館において九州学院高等学校第76回卒業証書授与式が挙行され、3年生339人が、それぞれの進路と人生の新たな舞台に向けて旅立ちました。開式の辞、讃美歌、聖書朗読および祈祷の後、卒業証書授与が行われ、各クラス担任が卒業生の名を読み上げた後、室永芳久校長から卒業生代表に卒業証書が授与されました。熊本県知事賞、日本私立中高連合会賞、熊本県高等学校体育連盟特別表彰の後、室永校長が式辞で慶びと激励の言葉を贈りました。讃美歌の後、在校生送辞を山本直輝高校生徒会長が行い、校歌斉唱をはさみ、卒業生を代表して横溝正泰高校前生徒会長が感謝の答辞を読み上げました。退場曲が流れるなか式場から出て行く卒業生に対して、列席した保護者・教職員からは門出を祝う大きな拍手が送られていました。S76回卒業生の皆さまのうえに、皆さまの恵みと祝福が豊かにありますよう祈ります。



新年度の学校生活がスタート！

～各学年で親睦会や研修会を実施～

新年度の学校生活が始動して第2週となる4月18日（木）から2日間、わが校が阿蘇市で開催されました。また、中高他学年は19日（金）に各学年で親睦会を開催しました（中学校学年親睦会の様子は3頁掲載の「九中コナー」をご覧ください）。高校1年生の一泊研修は、全体で建学の精神や教育目標、校歌、学校生活での規範などについて学びを深め、

2023（令和5）年度 事業活動収支計算書

（単位：百万円）

教育活動収支	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	学生生徒納付金	785	人件費	928
	手数料	12	経費	426
	寄付金	4	(内、減価償却)	161
	経常費等補助金	528	徴収不能額等	0
	付随事業収入	0		
	雑収入	6		
	教育活動収入計	1,335	教育活動支出計	1,354
教育活動収支差額		▲ 20		
教育活動外収支	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	受取利息・配当金	0	借入金利息等	3
	その他の教育活動外収入	0	その他の教育活動外支出	0
	教育活動外収入計	0	教育活動外支出計	3
	教育活動外収支差額		▲ 3	
経常収支差額		▲ 23		
特別収支	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	資産売却差額	0	資産処分差額	3
	その他の特別収入	3	その他の特別支出	0
	特別収入計	3	特別支出計	3
	特別収支差額		0	
基本金組入前当年度収支差額		▲ 23		
基本金組入額合計		▲ 142		
当年度収支差額		▲ 165		
前年度繰越収支差額		▲ 2,172		
基本金取崩額		0		
翌年度繰越収支差額		▲ 2,336		
(参考)				
事業活動収入計		1,338		
事業活動支出計		1,361		

「九州学院大同窓会 総会懇親会2024」を開催

～讃美歌312番を声高らかに～

＜見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び＞(詩編133)

同窓会の活性化と母校支援の推進

同窓会会長 廣島 秀二(S26回)



同窓会長に就任してから早2年が経過、4月の総会で再任され、会長二期目に入りました。副会長に吉永彰一氏(S36回)を増員して体制を強化、副会長それぞれに役割を分担してもらい、委員会には、前年同様それぞれ委員長と副委員長を置いています。

若手の会・リディア会も頑張ってくれており、常任幹事会などでも、若手委員・女性委員の出席が増えてきています。役員・委員が情報を共有し、役割を分担することにより活動を推進する方向性は、確実に浸透してきたように感じます。

昨年に引き続き大同窓会総会・懇親会を開催することができました。50人を超す教職員・旧職員の先生方にご出席いただき、皆大喜びでした。先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

学院では、生活困窮者への奨学制度を今年度から実施予定と聞いております。新たな奨学制度に対しても同窓会として寄与できればと思っています。昨年来、各支部の活動も活性化しつつあります。同窓会の活性化・母校への支援を推進するためには、同窓生の皆様のご理解とご協力が不可欠です。今後とも同窓会をよろしく願います。



4月19日(金)「九州学院大同窓会定期総会・懇親会2024」が熊本ホテルキャッスルに於いて開催されました。S4回(90歳)からS74回(20歳)までの卒業生、現職の教職員、校友会役員など、遠くは米国や東京、関西等から約450名の参加者を集めました。

総会では、2023年度活動報告・同決算報告・監査報告2024年度活動計画・同予算案等に対しての審議がなされました。また、今年は2年に一度の役員改選の年にあたり、役員選挙委員会から出された改正案は全会一致で無事に承認され、再選された廣島秀二同窓会会長から新役員の紹介が行われました。

続いての懇親会は、藤本一精氏(S36回)と吉田佐知子氏(S53回)の軽妙な司会により進行。冒頭にアトラクションとして九州学院中高チアダンス部が恒例の演技を披露、続いて日笠山吉之チャプレンの奨励により讃美歌312番(いつくしみ深き友なるイエスは)を参加者全員で声高らかに斉唱し、同窓会や学院関係の物故者をおぼえての祈りが捧げられました。

吉永彰一大同窓会実務委員長(S36回)、福田九州学院理事長(S18回)、小副川幸孝九州学院院長による挨拶の後、内村公春第8代九州学院院長の乾杯の発声で宴席に入りました。参加者たちは久々の再会を喜び合い、学生時代の思い出話や近況を語り合うなど歓喜の音が会場に満ち溢れました。最後

この会を開催するにあたり多大なるご尽力を頂きました。卒業回数1と6の付く学年代表からなる大同窓会実行委員会、若手の会、リディア会、祭九学会の役員の皆様、ほんとうにお疲れ様でした。同窓会が来年も盛大に行なわれますよう同窓会会員の皆様のご理解とご協力宜しくお願い申し上げます。



に堤建太氏(S52回)のエルとリードにより参加者全員で九州学院校歌を唄い、同窓会若手の会の土師英嗣新会長(S53回)の元氣溢れるメの言葉で無事にお開きとなりました。

九州学院同窓会役員・委員長および常任幹事

◎ 役員

顧問	松村 敏人 (S6回)	土山 研三 (S8回)
	内村 公春 (元院長)	阿部 英樹 (S28回)
	山崎 恒雄 (S21回)	小副川 幸孝 (院長)
相談役	浅川 牧夫 (S12回)	岡嶋 勇治 (S14回)
	堤 公一 (S18回)	緒方 徹 (S18回)
会長	廣島 秀二 (S26回)	
副会長	石橋 金治 (S25回)	三浦 陽二 (S28回)
	坂田 和洋 (S31回)	大久保孝介 (S32回)
	橋口 武弘 (S35回)	吉永 彰一 (S36回)
	杉本 素一 (S39回)	
監査役	高野 正晴 (S23回)	井手 庸文 (S25回)
	井 雅之 (S47回)	
事務局長	藤井 宏昭 (S39回)	会員委員長
育英奨学委員長	青山 正志 (S30回)	瀬口 大資 (S36回)
企画委員長	松永 修尚 (S34回)	渉外委員長
	若手の会会長	緒方 邦也 (S47回)
	土師 英嗣 (S53回)	広報委員長
		小手川 勲 (S24回)
		リディア会会長
		後藤佑佳子 (S49回)

◎ 常任幹事 207名
◎ 同窓生数 35,258名
(2024年3月現在 物故者を含む)

2024年度同窓会活動計画

- 4月 ● 常任幹事会
- 中高入学式 ● 大同窓会(総会・懇親会)
- 5月 ● 育友会 (PTA) 総会で10年会費について説明
- 6月 ● 奨学金授与式
- 同窓会新聞発行
- 9月 ● 常任幹事会
- 10月 ● 奨学生・給費生を励ます会 ● 高校3

〈S1回卒は1948年卒業〉

九州学院では、1948年度の新制高校の第1回の卒業生(1946年入学)をSenior(高校)の頭文字をとってS1回、新制中学校卒業生は1948年が第1回となり、J(Junior)1回と呼びます。因みに2024年3月の卒業生はS76回、J77回です。

令和6年度祭九学会 会長 川上 将史 (S52回)

今年度、祭九学会の会長を務めますS52回の川上将史です。我々九学会は今年も藤崎八幡宮秋例大祭に参加し

と思います。

2019年から同窓会終身会費(満60歳以上対象一括1万円、60歳未満は2万円)を納入された方に返礼として有田焼の特製九学パッジをお渡ししています。なお、年会費は2000円となつていますので皆様のご協力を宜しくお願い致します。

同窓会終身会費納入者に記念パッジを贈呈

祭九学会

グッズ販売のご案内

九学会S52回実行委員会

TEL:090-5929-4379

(川上)

●Tシャツ ●パーカー ●ゴルフマーカー ●タオルなどをご用意しております。



Tシャツ



北朝鮮拉致被害者 松木薫氏(S24回)の救出を

松木氏は1980年スペイン留学中に拉致され、現在も北朝鮮に抑留。弟の信宏氏(S43回)が拉致被害者家族会で活動中。

令和6年度の光村図書の 書写の教科書に掲載

～使用済み書道紙のリサイクル運動～

(社)エコ再生紙振興会 専任理事兼事務局長 池田 光希(S37回)



書道の世界に入り、約二十年はがむしゃらに自分の為に生きておりましたが、気がつけば40歳。妙に冷静に立ち止まった時に、これからは当たり前が通用しなくなっていく時代への危機感が強くなりました。書道界の各

展覧会出品減少は既に始まっており、野球あがりの私を育ててくれた業界に何か出来る事はないかと、以前から懸念していた使用済み書道紙の再生、活用事業を立ち上げました。書道界屈指の著名な先生方に賛同を求め理事団を結成し、社団法人を設立しました。封建的で師弟世界の業界ですから、かなり反発もありましたが、揺るがぬ信念のみで進めてきました。また、書道の未来と活性化を図るには小中学校との共創は不可欠と、まずは神奈川県西部地区の市町長や教育長に提案して回り、一斉に賛同を得て学校での実施定着が進みました。

先般記事にして頂いた毎日書道顕彰、循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰の授賞、更には令和6年度の光村図書の書写教科書に掲載紹介される運びとなりました。特に戦後から、墨のついた書道紙は再生不可の禁忌品扱いでゴミにしかならなかったのですが、今や実施する小中学校では、そのゴミが教材に甦るリサイクルが実現しています。



「僧侶が起つ」の
新書出版
荒牧邦三氏(S18回)

元熊本日日新聞社の記者の荒牧邦三氏はこのほど「僧侶が起つ

の記者の荒牧邦三氏はこのほど「僧侶が起つ

の記者の荒牧邦三氏はこのほど「僧侶が起つ

支部等で同窓会開催

5月20日 県庁九学会
6月8日 阿蘇中部九学会
6月22日 若北九学会
6月29日 関西九学会(予定)
7月6日 東京九学会(予定)



歴史を重ねるにつれて老朽化し、また白アリ

の侵入などが原因で雨洩りがひどくなり、

1974年の旧本館の解体に引き続きチャ

ペルの取り壊しの計画

も浮上しました。しかしながら同窓生の有志が、旧本館はやむを得

ないとしてもこの講堂は自分たちの青春の思い出、心の拠りどころとして永久保存を貫きたいという趣意書を提出して保

ヤクルト村上宗隆内野手は、5月15日、松山中央公園野球場で行われた広島戦において、矢崎拓也投手から第9号の本塁打を放ちました。このホームランは通算200号の記念すべきもので村上選手は24歳3ヶ月(2000年2月2日生)での達成となり、これまでの最年少記録だった元巨人などで活躍した清原和博氏の24歳10ヶ月を「パリ五輪(7/24)

7人制ラグビー
日本代表でパリ五輪へ
石田大河氏(S68回)

九学ラグビー部OBの石田大河選手(S68回・2016年卒・浦安D-Rocks)は、昨年大阪で行われた7人制ラグビー(男子)のアジア予選で優勝し「パリ五輪(7/24)

ドジャース山本由伸投手の専属通訳に
園田芳大氏(S48回)

本年2月、九州学院OBの園田芳大氏(S48回・1965年卒)は、祖父で元参議院議員・国



7ヶ月程上回り、史上最年少で200号を達成し、記録を更新しました。90年の長きにわたる日本プロ野球史上、偉大なる記録を樹立したことは実に素晴らしいこと

回・1996年卒)が、米国メジャーリーグロサンゼルスドジャース球団職員として山本由伸投手の専属通訳に決まり、現在メディアでも大活躍中です。園田氏は豊野中・九州学院高時代には柔道部に所属して活躍、京都の龍谷大卒業後に単身渡米し、ニューヨークの映画会社などの照明関係技術者として業績を残して来ました。しかし、映画業界が近年長期スライキに入ったことで山本選手の専属通訳の公募に応募して抜擢されたものです。

また、彼の父で元JAXA熊本中央会長で豊野村村長の俊宏氏(S17回・1965年卒)は、祖父で元参議院議員・国

土庁長官の清充氏(旧中22回・1937年卒)と三代にわたる九学ファミリーであることも誇らしいことです。

プロ野球史上最年少
200本塁打を達成
村上宗隆氏(S70回)

8/11)に日本代表として出場します。日体大では主将として活躍し、卒業後に男子の日本代表チームにメンバー入りしバックスとして存在感を示して来ました。アジア大会の決勝戦では前半同点のトライを決めるなど攻守で日本の勝利に大いに貢献しました。なお、父真也氏(S43回)は九学初の花園ラガー、兄一貴氏(S66回・三菱重工相模原ダイナボ

回・1996年卒)が、米国メジャーリーグロサンゼルスドジャース球団職員として山本由伸投手の専属通訳に決まり、現在メディアでも大活躍中です。園田氏は豊野中・九州学院高時代には柔道部に所属して活躍、京都の龍谷大卒業後に単身渡米し、ニューヨークの映画会社などの照明関係技術者として業績を残して来ました。しかし、映画業界が近年長期スライキに入ったことで山本選手の専属通訳の公募に応募して抜擢されたものです。

また、彼の父で元JAXA熊本中央会長で豊野村村長の俊宏氏(S17回・1965年卒)は、祖父で元参議院議員・国

土庁長官の清充氏(旧中22回・1937年卒)と三代にわたる九学ファミリーであることも誇らしいことです。

百年を迎えるチャペルは「心の故郷」 ～恵みの居場所をつくる～

関西九学会副会長 田中 雅弘(S45回)



一昨年、滋賀県近江八幡市にある「ヴォーリス記念館」を訪れたのは、その礼拝堂が、自分にとって、ただ単に高校時代を懐かしみ、回想するだけではなく、今日の価値観や考えに、大きな影響を与えた「私自身のふるさと」その心を感じるからです。そのルーツを訪ねました。1925年(大正14年)竣工、献堂式を行った九州学院「ブラウン・メモリアル・チャペル」は、創立者C.L.ブラウン博士を記念し建設され、2025年(令和7年)献堂百周年を迎えます。ロマネスク様式による小屋組木造化粧トラスの礼拝堂は、重厚な雰囲気の中にも、優美で洗練された、建築家ヴォーリス独特の意匠が施されています。高校時代、ラグビー部だった私は、その当時、ゴールポストの奥にある礼拝堂を眺めながら、日々、楕円の飛球を追ひ、時には隠れていた私を見守って下さいました。また、クリスマス礼拝など、賛美歌を歌い慣れ親しんだ、「唯一無二」の思い出深い礼拝堂です。戦火を逃れ、老朽化による度重なる取り壊しの危機、熊本地震による天災を乗り越えて、今日の荘重な礼拝堂の雄姿を見る度に、卒業して今もなお、「原点回帰」する場所であるとともに、「未来への新しい扉」を開く学院の象徴的な礼拝堂として、これからも見守り続けて欲しいと願って止みません。祝 献堂百周年、未来永劫を祈念して。



同窓会から成績優秀者に奨学金

6月19日(水)、1号館会議室において2024年度九州学院ナルドの奨学金学生に対する認定式が行われました。この制度は1981年の創立70周年記念事業の一環として1983年から九州学院同窓会が始めた育英奨学事業が、2015年から九州学院ナルドの壺基金に組み入れられて継続しているものです。現在、中高に在籍する奨学生A有資格者の中から特に優秀であると認められた

八代 都築小作争議を主導した男・田辺義道(二熊日新書を出版しました。大正末期から昭和初期にかけて八代の郡築干拓の地主と入植者の農業史に残る小作争議を人道的に主導した、地元隆法寺の僧侶・田辺義道氏を中心に郡築小作争議の全容を描いた力作です。労働運動や部落解放運動など、弱者に寄り添う取材をライフワークとしてきた著者にふさわしい内容となっています。

九州学院のシンボルともいえる、創立者C.L.ブラウン博士を記念したブラウンメモリアルチャペルは、1925年に竣工し、同年10月30日に献堂式が盛大に行われました。そして来年2025年に献堂百周年を迎えることとなります。同チャペルは米国人の建築家ヴォーリスの設計で、鉄筋コンクリート作り木造小屋組のロマネスク風スタイルの優美な建物です。一部二階建ての750席を有する会堂で、聖壇脇の控室の地下室にはボイラーがあり、スチーム暖房の装置が設置されていました。第二次世界大戦の時、金属供出で撤去されました。

歴史を重ねるにつれて老朽化し、また白アリの侵入などが原因で雨洩りがひどくなり、1974年の旧本館の解体に引き続きチャペルの取り壊しの計画も浮上しました。しかしながら同窓生の有志が、旧本館はやむを得ないとしてもこの講堂は自分たちの青春の思い出、心の拠りどころとして永久保存を貫きたいという趣意書を提出して保

ブラウンメモリアルチャペル
2025年に献堂から二世紀

育友会定期総会を開催

（全議案が承認される）

5月24日(金)午前、九州学院育友会定期総会が九州学院グラウン・メモリアル・チャペルで開催されました。今回も対面(会場)での参加・委任・議決権行使から選択可としました。

吉本副会長の司会で総会は進行し、日笠山吉之チャプレンによる聖書朗読と祈禱、中山竜一会長と室永芳久校長の挨拶に続いて議事に入りしました。規約に則り中山会長が議長を務め、出席、委任、議決権行使の合計数が定足数に達していることを確認後、以下の各議案が審議されました。

【1号議案】2022年度行事報告
【2号議案】2022年度決算・監査報告
【3号議案】2023年度行事予定(案)
【4号議案】2023年度予算(案)
【5号議案】2023年度新役員(案)
【6号議案】育友会部活動支援事業(案)

採決(議決場および議決権行使)の結果、全議案が賛成多数で承認されました。その後、新役員・監事の紹介等が行われ、今回の定期総会は終了しました。

同日午後には各学年クラス役員会、役員歓

送迎会などが行われ、新体制での育友会活動がスタートしました。

九学祭や講演会など

新年度も多くの行事が

計画されています。引

き続き皆さまのご協力

をたまりませんよう、

お願い申し上げます。

●新役員(執行部)●

会長 中山 竜一

副会長 山本 直美

副会長 原之蘭 浩

副会長 佐藤 準一

副会長 吉本 洋

書記 中村奈央美

書記 濱砂 華子

書記 森園 春香

会計 堤 建太

会計 河井 直子

渉外 杉本 美紀

渉外 林田 啓志

監事 小室 絵美

監事 廣島 大樹

のレーンは第5種公認

競技場として認定さ

れ、1995年9月に

は第4種公認競技場と

して認定されました。

その後、2004年

と2014年に全面張

替が行われ、今回は10

年ぶり3度目の全面張

替工事となりました。

今回のレーン全面張替

では色を青色から赤色

(煉瓦色)に変更すると

ともに、現行の陸上競

技規則に則り、レーン

幅を国際基準の122

cmに変更しています。

工事完了の翌日には

早速、新しく色鮮やか

なトラックレーン上を

多くの生徒が練習や鍛

錬で熱心に走行する姿

が見受けられました。



全天候型グラウンドレーン 全面張替工事完了

（鮮やかな煉瓦色のレーンで生徒が躍動）

3月下旬、九州学院敷地内にあるトラック

レーンの張替工事が約

3か月間の工事期間を

経て完了し、施工業者

による竣工検査が学院

関係者立会のもとで行

われました。学院のグ

ラウンドは創立以来長

きにわたって土であり

ましたが、1995年

た。1周300mのこ

九州学院みどり幼稚園 学校法人九州学院の二員として

認定こども園九州学院
みどり幼稚園園長 新垣 力

前号で、みどり幼稚園100周年のことを書かせていただきました。その続きといふことになりましたが、先日の大同窓会に職員3名とともに参加させていただきました。諸先輩方が和やかに歓談されている中に募金箱を持ってお邪魔したところ、どのテーブルでも快く迎え入れていただき、多くの寄付を頂戴することができました。金額もさることながら、そのお気持ちに涙が出るほどうれしく、ふたば会(幼稚園保護者会、幼稚園職員一同)の紙面をお借りし、心からお礼申し上げます。乾杯前の貴重

な時間に幼稚園として記念の年になること、11月に記念礼拝と式典を執り行うことの報告もさせていただきました。九州学院中学、高等学校卒業生の方の中で、みどり幼稚園の卒園生は僅かです。この機会に少しでも認識していただければ幸いです。いただきました運動させていたいています。この上なく安全で、たつぷり運動できる恵まれた幼稚園です。少子化問題は深刻ですが、九州学院附属の施設であることを生かしながら努力していきたいと思ひます。これから学校法人九州学院の一員として、応援くださいますようお願い申し上げます。



第77回卒業証書授与式を挙行

～ 102 名が新しい道へ～



3月9日(土)、九州学院グラウン・メモリアル・チャペルにおいて「九州学院中学校第77回卒業証書授与式」が挙行され、102名の卒業生が学び舎を巣立ちました。

今回は2年生がチャペルに入って式に参加をし、1年生はホールから式を見守る形となりました。



新入生104名を迎えて新学期がスタート

スケート研修を実施しました
（元気に氷上を滑走）

3月12日(火)に、中学1年生(現中学2年生)のスケート研修をアークアドーム熊本で行いました。初めに、インストラクターの方から基本的な滑り方や転倒した時の立ち上がり方などを教わ

りました。スケート初めて行う生徒も多く転倒することもありましたが、手を差し伸べたり声をかけ合ったりする姿も見られ笑顔溢れる充実した研修となりました。



今回ご協力いただいたアークアドーム熊本の職員の皆様、インストラクターの方々、そしてスベシャルゲストとしてかけつけ手伝ってくれた古平結明さん(77回卒、アイスホッケーユースオリピック日本代表選手)に心から感謝申し上げます。

4月9日(火)に1年生104名を迎えて、中学生は322名で新年度をスタートしました。4月19日(金)には1年生に向けた部活動紹介と各学年の親睦会を実施しました。部活動紹介では生徒会が司会進行を行い、各部活動が特色を丁寧に紹介しました。親睦会ではどの学年も盛り上がり、校内各所で歓声がかれました。今後も様々な活動を通して、学年やクラスの隔てなく親睦



学友会活動成績
(1月1日～5月7日)

高校

柔道部

第46回全国高等学校柔道選手権大会熊本県予選
(1月20・21日)

▽八代市総合体育館
▽男子団体 1位
▽女子団体 2位

▽男子個人
1位 天川 泰典(2年)

2位 堀 太雅(1年)

3位 中園 頼人(2年)

▽73kg級
1位 村上虎之介(2年)

2位 杉本 峯晟(2年)

3位 内山 慶人(2年)

▽52kg級
1位 吉永 碧衣(2年)

2位 赤星 凛咲(1年)

3位 本田 遥香(2年)

▽46回全国高等学校柔道選手権大会熊本県予選
(3月19・20日)

▽八代市総合体育館
▽男子団体 出場

▽男子個人
出場 天川 泰典(2年)

▽無差別級
出場 内山 慶人(2年)

▽女子個人
52kg級 吉永 碧衣(2年)

55kg級 吉永 碧衣(2年)

▽九州ジュニア柔道連盟選手権大会熊本県予選
(4月21日)

▽八代市総合体育館
▽男子個人
1位 天川 泰典(3年)

2位 堀 太雅(2年)

3位 村上虎之介(3年)

▽90kg級
3位 村上 希龍(3年)

3位 坂田 有杜(3年)

▽女子個人
52kg級 吉永 碧衣(3年)

3位 赤星 凛咲(2年)

3位 本田 遥香(3年)

▽78kg級
1位 八石 羽菜(3年)

2位 鳥飼 紅葉(2年)

▽熊本市総合体育館
▽団体 1位

空手道部

熊本市高等学校空手道一・二年生大会
(2月11日)

▽玉東町民体育館
▽男子
1位 藤本 航輝(2年)

2位 藤本 Aクラス1年生生部

3位 小田 倅成(1年)

▽団体組手
1位 竹本 爽志(1年)

3位 竹本 爽志(1年)

▽女子
1位 Aチーム

2位 田淵 愛菜(1年)

3位 前田 彩姫(1年)

▽団体組手
3位 Aチーム

▽第3回熊本市高等学校一年生弓道大会
(1月27日)

▽熊本市植木弓道場
▽熊本市植木弓道場
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第16回八代市杯弓道大会
(3月20日)

▽八代市弓道場
▽女子団体 1位

▽女子個人 3位

▽鳥取県立武道館弓道場
▽国民スポーツ大会弓道競技少年男子・少年女子熊本県代表選考大会
(4月21日)

▽南部総合スポーツセンター弓道場
▽男子団体 1位

▽女子団体 3位

▽第5回熊本市内高校生弓道大会
(4月27日)

▽南部総合スポーツセンター弓道場
▽男子個人 1位

▽女子個人 3位

▽天皇盃第29回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会
(1月21日)

▽広島県平和記念公園前着
▽熊本市代表第1区
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽熊本市代表第5区
1位 水野 夢大(3年)

2位 水野 夢大(3年)

陸上競技部

第25回山口陸生杯八代選手権大会
(4月28日)

▽八代運動公園陸上競技場
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第33回全国高等学校剣道選抜大会
(3月27・28日)

▽愛知県春日井市総合体育館
▽団体 1位

▽個人 1位

▽第16回西脇多可新人高校駅伝競走大会
(2月18日)

▽兵庫県北はりま田園ハーフマラソン
▽男子総合
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第39回熊本県私立学校陸上競技大会
(4月29日)

▽水前寺競技場
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第58回熊本県陸上競技選手権大会
(4月29日)

▽広島県公園陸上競技場
▽西日本ジュニア男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第43回熊本県市陸上競技選手権大会
(5月4日)

▽えがお健康スタジアム
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

バスケットボール部

熊本市高等学校新人バスケットボール大会
(1月13・14・20日)

▽玉名市総合体育館
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第54回九州高等学校バスケットボール春季選手権大会
(3月15・17日)

▽唐津市文化体育館
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第78回九州四県対抗バスケットボール選手権大会
(4月6・7・13・14日)

▽東海大学付属熊本星翔高校
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第8回熊本市陸上競技選手権大会
(4月20・21日)

▽宮崎県総合体育館
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第46回九州高等学校新人ラグビー大会
(2月16・21日)

▽ひなた宮崎県総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第11回全国高等学校7人制ラグビー大会熊本県予選
(4月20・21日)

▽熊本市総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

ハンドボール部

熊本市高等学校ハンドボール競技大会
(4月13・21日)

▽鹿本体育館
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第46回九州高等学校新人ラグビー大会
(2月16・21日)

▽ひなた宮崎県総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第11回全国高等学校7人制ラグビー大会熊本県予選
(4月20・21日)

▽熊本市総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第11回全国高等学校7人制ラグビー大会熊本県予選
(4月20・21日)

▽熊本市総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第11回全国高等学校7人制ラグビー大会熊本県予選
(4月20・21日)

▽熊本市総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第11回全国高等学校7人制ラグビー大会熊本県予選
(4月20・21日)

▽熊本市総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第11回全国高等学校7人制ラグビー大会熊本県予選
(4月20・21日)

▽熊本市総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

水泳部

熊本市春季選手権水泳競技大会兼春季JYO予選会
(1月6・7日)

▽アクアドームくまもと
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第29回熊本県ジュニア短水路水泳競技大会
(2月24・25日)

▽アクアドームくまもと
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第29回熊本県ジュニア短水路水泳競技大会
(2月24・25日)

▽アクアドームくまもと
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第29回熊本県ジュニア短水路水泳競技大会
(2月24・25日)

▽アクアドームくまもと
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第29回熊本県ジュニア短水路水泳競技大会
(2月24・25日)

ボクシング部

第35回全国高等学校ボクシング選抜大会
(3月25・29日)

▽岡山県玉野市総合体育館
▽男子ライトフライ級
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第10回熊本県ジュニア短水路水泳競技大会
(4月6・7日)

▽鴨池公園水泳プール
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第10回熊本県ジュニア短水路水泳競技大会
(4月6・7日)

▽鴨池公園水泳プール
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第10回熊本県ジュニア短水路水泳競技大会
(4月6・7日)

▽鴨池公園水泳プール
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第10回熊本県ジュニア短水路水泳競技大会
(4月6・7日)

ラグビー部

第46回九州高等学校新人ラグビー大会
(2月16・21日)

▽ひなた宮崎県総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第11回全国高等学校7人制ラグビー大会熊本県予選
(4月20・21日)

▽熊本市総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第11回全国高等学校7人制ラグビー大会熊本県予選
(4月20・21日)

▽熊本市総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第11回全国高等学校7人制ラグビー大会熊本県予選
(4月20・21日)

▽熊本市総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第11回全国高等学校7人制ラグビー大会熊本県予選
(4月20・21日)

▽熊本市総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第11回全国高等学校7人制ラグビー大会熊本県予選
(4月20・21日)

▽熊本市総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第11回全国高等学校7人制ラグビー大会熊本県予選
(4月20・21日)

▽熊本市総合運動公園
▽熊本市代表
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽第11回全国高等学校7人制ラグビー大会熊本県予選
(4月20・21日)

柔道部

熊本市植木弓道場
(4月28日)

▽男子団体 3位

▽男子個人 1位

▽女子団体 1位

▽女子個人 1位

▽第10回熊本市陸上競技選手権大会
(4月6・7日)

▽宮崎県総合体育館
▽男子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年)

3位 植木 心(2年)

▽女子
1位 植木 心(2年)

2位 植木 心(2年